

Title	英国陸軍ニ於ル齒科医術
Author(s)	血脇, 守之助
Journal	齒科學報, 11(6): 10-15
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10130/1513">http://hdl.handle.net/10130/1513</a>
Right	

神經腫ノ如ク解剖的ノ變化ヲ生シタルニヨリ起因セルトキハ神經切除法ニ依ルノ外良効ヲ奏スルモノナク單ニ神經ヲ分離スルカ如キハ未タ以テ充分ナリトスヘカラス(未完)

### ●英國陸軍ニ於ル齒科醫術

ジョーヂ、セシル述

血脇守之助譯

南阿戰爭ノ開始前英國軍事當局者ハ相當資格アル齒科醫ヲ以テ英國野戰軍ニ於ル一必要機關トシテ認ムルコトナカリシカ開戰第二年ニ至リ遽ニ若干ノ齒科醫ヲ南阿ニ送遣スヘキコトヲ決定シ之カ志望者ヲ募集シ撰擇ノ後直ニ之ヲ發遣シタリキ此處置タル誠ニ機宜ヲ得タルモノニシテ右齒科醫ノ南阿ニ到着スル頃ニ現役ニ服セル陸軍隊ノ多數者ハ戰爭間ニ惹起セル齒痛ノ爲ニ服役スル能ハサリシナリ蓋當時軍隊ハ一ノ褥布ナクシテ陰濕ノ土地ニ眠リ數日間堅硬ナル「ビスケット」消化シ難キ牛肉ノ食糧ニ因リテ飢饉ヲ凌キシツ、アリタル状態ノ下ニ在リタルコトニ想ヒ到レハ斯ル多數者カ齒疾ニ困難シタル素ヨリ驚クヘキニアラスト謂ツヘシ而カモ齒科醫ノ到達ト共ニ其効果ハ速ニ顯ハレ久シカラスシテ此齒疾ノ爲メ入院セル患者ノ數ハ著シク減退シタリキ

由來大戰役ノ進行中ニ於ケルノ外軍務當局者ハ英國兵士ノ齒牙ノ状態ニ注意スルコト極メテ尠少シ

是蓋些カ奇異ナルカ如シト雖モ而カモ齒科醫學ハ軍醫志望者ノ軍醫ニ任命セラル、ニ先テ未タ知悉セサルヘカラサル試驗ノ一部ヲ成スコトナキノ事實タルヲ奈何セン勿論軍醫志望ノ者候補生トシテ軍醫部ニ採用セラレタル後「チツトレ」病院ニ於テ其第一練習ヲ受ルニ方リテハ齒科教育ノ簡單ナル課程ヲ科セラル、アルモ而カモ該教育タル極メテ姑息的ノモノタルニ過キスシテ全軍醫部員中齒科ノ一教授スラ現存スルコトナキナリ隨テ少壯ニシテ經驗ヲ累テサルニ軍醫ノ齒牙ニ關聯セル原因ニ依リ惱メル一兵士ノ治療ヲ托セラル、コアリテモ其採ル處ノ療法ハ單ニ實驗的ノモノニシテ間々治療ノ効ヲ奏スルコトナキニアラサルモ多數ハ治療ノ効ヲ奏スルコトナシ重患ノ場合ニ在リテハ特ニ然リトス幸ニ此等ノ場合ニ於テ軍醫ハ公平ニ其無能ヲ自認シ宜シク軍醫以外ノ施術家ニ就テ商議スヘキコトヲ勸ムルカ故ニ實際ニ於テ格別ノ支障ナキヲ得ヘシトハ云ヘ而カモ斯クセンニハ兵士ニ於テ耐ヘ得サル費用ヲ要スルノミナラス元來無料ニテ治療ヲ受ケ得ルコトハ彼レ兵士等ノ應召ノ利益ノ一トシテ明約セラレタル處ノモノナルニ却テ彼等ヲシテ他ノ費用ヲ要スル治療ヲ受ケシムルニ至ルハ取リモ直サス一種ノ詐僞ヲ構成スルモノニアラスシテ何ソ

概言スルニ一般軍醫ハ齒痛ノ療法トシテ唯一ノ療法ヲ有スルノミ拔齒即チ是ナリ而カモ齒痛ノ原因並ニ顎ノ狀態如何ノ如キハ彼レ軍醫ノ拔齒術ヲ施スニ方リ顧慮スル處ノモノニアラス又充填若クハ繼齒ノ如キ微妙ナル施術ハ義齒ト共ニ全然彼レ軍醫ノ能ク企及シ得ル處ノモノニアラス蓋軍醫ハ

會テ如何ニ此等ノ施術ヲ行フヘキヤヲ學ヒタルコトナキ者ナレハ一般ノ定則トシテ此等ノ施術ヲ試  
 ムルヲ制抑スルヲ以テ寧ロ智識アル處行ナリトス而カモ一般兵士ハ軍醫ノ齒科ニ關スル熟練如何ヲ  
 知ルコトナキカ故ニ時アリテ或ハ軍醫ノ此等ノ施術ヲ受ル場合ナキニアラザラン果シテ然ランニハ  
 其結果如何アルヘキ眞ニ戰慄ノ感ナクンハアラスアトキンス氏ノ說ニ據レハ軍醫ノ齒科ニ關スル智  
 識ノ缺乏カ當ニ上記ノ數者ニ止マラスアラユル齒科術ノ各分科皆舉ツテ然ラサルハナシト言ヘリ  
 軍醫ノ拔齒術タル通常田舎ノ縁日市ヲ遍歷スル施術家ト同シク力ヲ用フルニアルノミ會テ麻醉藥ヲ  
 施用セルコトナク隨ツテ「フホーセツプ」ト齒牙間ニ力ヲ加フルニ依リ施術ヲ終了スルニアリ故ニ兵  
 士カ任意ニ軍醫ノ齒科治療ヲ受ルニ先タチ非常ノ苦痛ニ惱メルヲ觀ルカ如キハ今更ニ決シテ驚クヘ  
 キニアラス實ニ彼レ兵士ハ當初名狀スヘカラサル苦痛ニ耐フルカ然サレハ軍醫以外ノ齒醫ニ商議ス  
 ルカ爲氣前能ク一ヶ月ノ收入ヲ犠牲ニ供スルカノ外他ニ取ルヘキ途ナキナリ  
 英國陸軍ニ於テ通常遭遇スル齒痛及齒牙疾患ノ多數ハ直接兵士カ齒牙ニ就テ不注意ニシテ之カ清  
 淨ヲ缺ケルニ起因セサルハナシ兵營ニ於テ彼等カ齒刷子ヲ使用スルハ寧ロ例外ニシテ定規ニアラス  
 蓋新募兵ノ輩出スル社會ハ本來此必要ナル化粧品ニ就テ熟知スル處ナク而シテ陸軍ニ入ルニ先タ  
 チ齒牙ヲ刷磨スルナカリシ處ノ人ハ恐ラク其後ニ在リテモ刷磨スルノ慣習ヲ得ルコトナカルヘケレ  
 ハナリ又兵士ノ將校ナルモノモ由來刷磨ニ關シテ兵士ニ對シ些カニテモ注意勸告スルコトアルナク

兵士ノ軍服ノ清潔ヲ期スルコト必需品ヲ汚染セスシテ保持スルコトニ就テハ種々ノ苦痛及罰金ヲ科シテ之ヲ勵行スルニ拘ハラヌ一旦兵士ノ齒牙ニ關スルトキハ縱令終歲齒刷牙ヲ用フルコトナキニモセヨ尙ホ之ヲ規律違反トナスコトナシ

齒痛ノ他ノ原因ハ英國陸軍ニ於ル兵士生活狀態ノ衛生的ナラサルニアリ例之兵營ニ於テ兵士ハ五六十人ノ人員ト共ニ一室内ニ起臥シ其寢床ハ窓或ハ戸ニ對シテ位置スヘキカ故ニ終始通風ニ曝サル、ヲ免カル、能ハス又各兵士ニ分與セラル、場所ノ不充分ナルコトハ多數専門家ノ非難シ已サル處ナリ尋テ機動演習ニ際シテハ兵士ハ一「テント」内若クハ地上ニ睡眠シ寢具トシテハ一雙ノ「ブランケット」アルノミ隨ツテ元氣ノ濕潤ニシテ寒冷ナルトキハ（英國ニテハ一年内ノ多クハ總テ然リ）兵士ハ自然ニ數多ノ齒疾ニ罹ルヲ免カレストス（縱令良好ナル元氣ニテモ斯ル生活方法ノ下ニ在リテハ不幸ナル齒疾ヲ誘起スルニ足レリ）

尙ホ兵士ノ食事ハ英國陸軍ニ於テ遭遇スル齒疾ノ最多數ノ主因ヲ爲セルコトハ具ニ本問題ヲ研究セル者ノ定論タリトス（第一）食物ハ不味ニシテ（第二）消化シ難ク（第三）非常ニ營養成分ヲ缺キ加フルニ料理ハ極メテ不熟練ナリ陸軍料理人ノ多クハ猿猴ノ數學上ノ智識ヲ缺ケルト一般包厨上ノ技術ヲ了解セサル者ト云ハサルヘカラス其應召以前ニ於テハ決シテ食事ヲ料理セルコトナカリシカ故ニ當初同輩ノ正餐ヲ準備スルカ爲聯隊ノ厨房ニ入ルニ方リ其眼界ヤ極メテ單純ニシテ最モ簡單ナル食事

ニテスラ之ヲ準備スル能ハス一肉片ノ如キ焙リ過コシテ燃屑タラシムルカ或ハ半生ノ儘ニテ之ヲ兵室ニ送り届ルカノ二途ヲ出テス勿論少時ニシテ幾分改良セラル、ニ至ルヘシトハ云ヘ而カモ其經驗ヲ積ム迄多數ノ兵士ハ爲ニ不幸ナル時ヲ費ヤサルヘカラサルナリ

但此狀況ヲ救治スルカ爲當局者ニ於テ何等企畫スル處アラストハナスヘカラズ實際彼レ當局ハ可出來丈努ムル處アリト雖トモ而カモ各般ノ事情ハ未タ其奏効ヲ充分ナラシムル能ハサルヲ奈何セン各軍隊ニ於ル一下士官ハクレーリー「アルダーシヨット」學校ノ卒業生ニシテ其責任ヲ以テ部下ヲ教導スヘキ制ナリトスト雖トモ而カモ其監督ナルモノハ極メテ有名無實ノモノタルニ過キス

戰陣或ハ現役ニ服スル場合ニ於テ英國ノ兵士ハ往々麵包ノ代リニ「ビスケット」ヲ給與セラル、コトアリ此等ノ「ビスケット」ハ非常ニ堅硬ニシテ黑奴或ハ鱈魚ノ外到底之ニ因リテ顎ノ傷害セラル、ヲ避クベカラサルヘケレハ數日間此等ノ「ビスケット」ヲ攝取シタル後不幸ナル兵士ノ齒疾ヲ惹起シツ、アルヲ見ルモ素ヨリ驚クニ足ラス此ニ於テ陸軍省ハ近頃充分類ノ健全ナラサル者ノ應募ヲ許サ、ルノ訓令ヲ發シ又若干以上ノ義齒ヲ有スル者ハ身體上ノ資格ヲ缺ケル者ナルコトヲ命令シタリ斯クテ公表セラレタル統計ニ據レハ年々數千ノ人員ハ顎ノ状態不良ノ故ヲ以テ軍醫ニ依リ除却セラレツ、アルモノ、如シ將校候補生ニ就テモ亦同一ノ徵候ヲ認ムルナキニアラスト雖トモ而カモ將校候補生ノ出ル階級ハ日常齒牙ヲ注意スルノ慣習ヲ有スルカ故ニ除却ノ數モ比較的ニ少數ナリトス

英國陸軍々醫團ノ「ドクター」ハ現在ヨリモ一層齒科上ノ智識ヲ得ントシテ齷齪シツ、アリトハ蓋シ眞相ヲ得タルモノニアラサルヘシ何トナレハ「ドクター」ハ其軍服ニ注意シ劍ヲ賞玩シ鬚髭ヲ刷拭シ軍事上ノ態度ヲ修養シ上位者ニ對スル交際等ノ爲ニ忙殺セラレ到底專業ヲ研究スルノ違アラサルヘケレハナリ加之將來「ドクター」ノ收入ノ増加ハ一ニ昇給ノ問題ニ存スルカ故ニ聯隊齒科醫ノ職掌ノ爲必スシモ努メサルヘカラサル特殊ノ理由アルナク而シテ「ドクター」ハ服役年限ノ増加ニ伴ナヒ昇給ハ得テ避クヘカラサル處ナルカ故ニ自カラ不必要ナル困苦ヲ犯サ、ルヲ以テ寧ロ利アリトスヘシ同時ニ全然齒牙ノ注意ヲ怠ル限リ虛偽ノ口實ノ下ニ兵士ノ召募ニ應スルコトハ當然難事タルヘシトス